allcinema

黄金の腕（1955）

THE MAN WITH THE GOLDEN ARM

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 115分
初公開日 1956/05/29
公開情報 松竹

【解説】

麻薬中毒者に扮するシナトラの、禁断症状に苦しむ迫真の演技が評判を取り、テーマがテーマだけに検閲論議のタネとなって、製作・監督のプレミンジャーがますますハリウッドの問題児たる面目を保った力作。“黄金の腕”とあだ名されるカードの名手フランキーは、六ヶ月の療養所生活を終え、古巣の町に戻った。アパートには車椅子生活の妻ゾシュ（Ｅ・パーカー）が待っていた。夫の飲酒運転の結果そうなったが、実は既に治っており、彼が自分から離れないよう不具のフリをしているのだ。フランキーは博奕打の暮らしに戻りたくはなく、施設で持ち前のリズム感を生かしドラムの修行を受けていたが、妻にとってディーラーの彼こそがよき稼ぎ手で、そのため再び麻薬に手を出すことも厭わない気配。売人のルイは影のようにつきまとう。そんな彼を親身に心配してくれるのは、酒場のホステス、モリー（ノヴァク好演）だけだった。その彼女にも今はヤクザな別の男が。やがて、フランキーにオーディションの口がかかる。恋人の目を盗んで練習に部屋を提供してくれたモリーの期待に背き、腐れ縁から受けた賭博が長丁場になり、その間、麻薬を打ち続けたフランキーは完全なジャンキーとなって、楽団入りのチャンスを逃してしまう……。全編を貫くバーンスタインのパワフルなスコアが圧巻で、映画音楽が初めて本格的にモダン・ジャズを取り入れた先駆けとして高く評価されている。

【クレジット】

監督	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger	
製作	オットー・プレミンジャー	Otto Preminger	
原作	ネルソン・オルグレン	Nelson Algren	
脚本	ウォルター・ニューマン	Walter Newman	
	ルイス・メルツァー	Lewis Meltzer	
撮影	サム・リーヴィット	Sam Leavitt	
編集	ルイス・Ｒ・ローフラー	Louis R. Loeffler	
音楽	エルマー・バーンスタイン	Elmer Bernstein	
タイトルデザイン	ソウル・バス	Saul Bass	
出演	フランク・シナトラ	Frank Sinatra	フランキー・マシーン
	エリノア・パーカー	Eleanor Parker	ゾシュ・マシーン
	キム・ノヴァク	Kim Novak	モリー
	アーノルド・スタング	Arnold Stang	スパロー
	ダーレン・マクギャヴィン	Darren McGavin	ルーイー
	ロバート・ストラウス	Robert Strauss	シュウィフカ
	ジョン・コンテ	John Conte	ドランキー
	ドロ・メランデ	Doro Merande	ヴィー

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

ジョージ・Ｅ・ストーン	George E. Stone	サム・マーケット	
ジョージ・マシューズ	George Mathews	ウィリアムズ	
レオニッド・キンスキー	Leonid Kinskey	ドミニフスキー	
エミール・メイヤー	Emile Meyer	ベドナー刑事	
シェリー・マン	Shelly Manne		（クレジットなし）
ショーティ・ロジャース	Shorty Rogers		（クレジットなし）
ゴードン・ミッチェル	Gordon Mitchell		（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.